

事務事業名	緊急通報システム整備事業		担当	健康福祉部 高齢福祉課 高齢者福祉係	
政策名	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	施策名	3	高齢者福祉の充実
成果指標	名称		単位	6 年度実績	
	年度末設置台数		台	342	
	年度末累計設置台数		台	703	
事業概要	65歳以上のひとり暮らし高齢者および高齢者のみ世帯等に対し、急病・災害等の緊急時に、迅速かつ適切な通報を行なうために緊急通報システムを設置する。設置型発信機、ペンダント型発信機のほか、人感センサー、熱感知センサーによる通報を行う。システムはケーブルテレビのインターネット回線を使用し、通報時には委託先受信センター(警備会社)の警備員が現場へ急行し状況確認をする。 システム機器の廃番により、インターネット回線を利用しない新機種に変更することとした。令和5年度11月以降、新規設置分は新機種で対応している。				
6 年度実績・成果・課題	【令和6年度実績】 システムを活用した常時見守りに加え、警備会社による月1回の定期訪問を実施し、対面によって高齢者の安否を確認するとともに、安心な在宅生活を支援した。新規設置は前年度より11台増加している。 ・新規設置 65台 ・撤去 50台 【成果】 ・緊急システムが必要な方に、速やかにシステムを提供することができており、緊急通報後に救急搬送され、安心した生活につながっている。 ・新規設置は新機種導入によりコストの削減につながっている。 【課題】 ・高齢化の進展により、見守りが必要な高齢者が増えていくが、必要な方に設置を進めていく必要がある。				
今後の方向性と具体策	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☒ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 ・見守りが必要な高齢者に対し、速やかに設置できるよう引き続き民生委員や介護事業所などと連携していく。 ・新機種導入により、一時的に必要経費のコストダウンが見込めるが、高齢化の進展により経費がかかることから、新たなツールがあるかどうか検討の余地がある。				